

執筆者紹介(執筆順, \*は編著者)

[①所属・職名, ②専門分野, ③本書に関連する代表的著作]

\*倉持 孝司(くらもち たかし) はしがき, 序章, 第1章, 第4章(翻訳), 第5章(翻訳), 終章, 本書関係のスコットランド年表

- ① 南山大学法務研究科教授
- ② 憲法研究(とくに, イギリス憲法研究)
- ③ 「イギリス憲法改革と地域的権限移譲——スコットランド」比較法研究78号(2017年), 倉持孝司・松井幸夫・元山健共編著『憲法の「現代化」——ウェストミンスター型憲法の変動』(敬文堂, 2016年)

力久 昌幸(りきひさ まさゆき) 第2章

- ① 同志社大学法学部教授
- ② イギリス政治研究
- ③ 『スコットランドの選択——多層ガヴァナンスと政党政治』(木鐸社, 2017年), 「イギリスは分裂するのか——地域分権とイギリスの将来」(梅川正美との共著) 梅川正美・阪野智一・力久昌幸共編著『現代イギリス政治(第2版)』(成文堂, 2014年)

松井 幸夫(まつい ゆきお) 第3章

- ① 関西学院大学名誉教授
- ② 憲法研究(とくに, イギリス憲法研究)
- ③ 松井幸夫「憲法の『イギリス・モデル』とイギリス『憲法改革』」佐藤幸治・平松毅・初宿正典・服部高宏共編『現代社会における国家と法』(成文堂, 2007年), 倉持孝司・松井幸夫・元山健共編著『憲法の「現代化」——ウェストミンスター型憲法の変動』(敬文堂, 2016年)

ジョン・マケルダウニイ(John McEldowney) 第4章

- ① イギリス・ウォーリック大学法学部教授
- ② 憲法・行政法研究
- ③ 「展開・改革・変化の中のイギリス公法——展望と論争」(愛敬浩二・宮内紀子共訳) 名古屋大学法政論集268号(2016年), 「変化するイギリス憲法の下での国会」(倉持孝司・杉山有紗共訳) 倉持孝司・松井幸夫・元山健共編著『憲法の「現代化」——ウェストミンスター型憲法の変動』(敬文堂, 2016年)

クリス・ヒムズワース(Chris Himsworth) 第5章

- ① イギリス・エディンバラ大学名誉教授
- ② 憲法・行政法研究
- ③ 「イギリス憲法の諸相——スコットランドの観点から」(愛敬浩二・本庄未佳共訳) 名古屋大学法政論集271号(2017年), 「連合王国におけるスコットランド」(松井幸夫訳) 倉持孝司・松井幸夫・元山健共編著『憲法の「現代化」——ウェストミンスター型憲法の変動』(敬文堂, 2016年), 「スコットランドにおける権限移譲」(松井幸夫訳) 倉持孝司・小松浩共編著『憲法のいま——日本・イギリス』(敬文堂, 2015年)

梅川 正美(うめかわ まさみ) 第6章

- ① 愛知学院大学法学部教授
- ② イギリス政治研究
- ③ 「イギリスは分裂するのか——地域分権とイギリスの将来」(力久昌幸との共著) 梅川正美・阪野智一・力久昌幸共編著『現代イギリス政治(第2版)』(成文堂, 2014年), 『サッチャーと英国政治2』(成文堂, 2001年)